

# 大型施設園芸経営における調整作業形態と労務管理手法

布木岸男 (大分県農業技術センター)

Kishio FUKI : Working Modes and Labor Management  
in the large Scale Protected Horticulture Farming

## 1. はじめに

大分県の農業振興計画では、集約性が高く周年出荷が可能なおねぎ、なら、おおば等6品目を「雇用型施設野菜」と位置づけ、その推進を図っている。雇用型施設野菜経営では雇用労働力の確保、とりわけ全作業時間の60%以上を占める収穫調整作業対策が重要となっている。

そこで、大型施設園芸経営体における調整作業の形態と被雇用者の定着率を高める労務管理手法について調査、分析を行った。

## 2. 雇用型経営推進上の問題点

おねぎ、おおば等は、労働時間が10a当たり2,000時間を超える労働集約型作物で、現在の機械化技術水準では雇用を前提としない限り収益性が低く、また、小規模経営体では利潤を出し難い作目に属する。

ところが、栽培農家は雇用の導入に踏み出さない場合が多い。その理由として、施設費の投資額が大きいこと、経営者の高齢化等の外に、①農業収入の多くは手間賃に相当するもので雇用賃金支払いにより収入が減少するため家族でやるのが一番良いと思込んでいる、②雇用はしたいが被雇用者の確保が出来ないとあきらめている場合が少なくなく、家族労働力に見合った面積規模で単収や品質の向上による生産性の向上を目指す農業者が多くみられる。そのため、栽培農家は微増しているものの産地規模は伸び悩んでいる状況である。

今回調査を行った施設園芸経営体における雇用では、家族労働力不足を補完する段階を越え、経営規模拡大を目指す経営戦略の重要な手段として明確に位置づけている。そして、昨今の厳しい雇用環境の中で10人以上の被雇用者を確保し、さらに経営拡大計画を持っている。また、雇用型経営を行うことにより生産や生活にゆとりが生まれると同時に、雇用面等で地域社会に貢献できる経営者になろうとの意欲が伺える。

## 3. 調整作業方式

雇用型経営体で採用されている調整作業方式は様々であるが2つに大別でき、1つは、直接雇用と作業の一部を委託に出す作業委託方式である。作業委託方式はさらに生産者が共同で行う共同選別調整方式と調整作業を内職者に下請けさせる経営外部委託方式、さらに調整作業を含めたハウス内の仕事の一部を任せる経営内委託方式がある。2つは、その作業を行う場所によって経営内と経営外とに区別できる。

このような方式の違いは地域性や作目特性などに起因するものと考えられる。①地域性では被雇用者の特性や

職場となる農場の立地条件との関連で違いが認められる。すなわち、比較的若い人を確保できる住宅団地等がある場合は、勤務時間を拘束されないフレックスタイム制による経営内委託方式が多く、また、都市的地域でも比較的時間にゆとりがある人が存在する場合は直接雇用型が多い。都市周辺部に立地する場合や中間地域で農場の近隣に被雇用者の確保が困難な場合、さらには家庭の事情で在宅を強いられる人が多い場合は、宅配による経営外部委託方式が多い傾向がみられる。②作目特性としては、輸送性と調整箱詰め技術の難易度との関連性が認められる。すなわち、輸送性の高い品目は共選など経営外での作業が可能であるのに対し、輸送に弱い、あるいは調整箱詰め技術が市場価格に大きく影響するいちごやおおばは、経営内における作業方式となっている。さらに、③農協等による共同作業場の設置や運営への支援体制の有無によっても違いがみられる。

## 4. 労務管理

確保した被雇用者の定着率を高めるため、次のような工夫がみられる。①年間就労を保証すること。被雇用者の就労が中断することのないように作業計画に基づき計画的に作付けを行なっている。②公平な賃金体系を採ること。被雇用者が高齢者中心であるため時間給の平均は450円と比較的廉価であるが、公平感が保たれることが重要で仕事量と賃金とが比例しやすい能率給の採用が多い。しかし、作業能率は生産物の品質に左右され、能率給の不満となりやすいため賃金単価の引き上げや特別手当の支給などの配慮を行っている。③働きがい、やりがいのある職場にすること。労働環境の改善に努めるとともに、職場の信頼しあえる人間関係の構築のために慰安旅行など共通の話題づくりによる連帯感の醸成、さらには作柄や栽培技術、市況など経営体に関する情報を被雇用者に提供することで経営参加意識の芽ばえにも役だっている。

このように、大型施設園芸経営体では地域特性や被雇用者の生活状況に合った調整作業方式を取り入れると共に、被雇用者の立場を考慮した労務管理を行うことによって多くの雇用労働力の確保を可能にしている。